

唯一無二の
鉄粉入り遮音材

YMC★

軟質遮音シート総合カタログ

PRODUCT CATALOG

- ★ 高い遮音性能
- ★ 薄くて重い
- ★ 加工・施工が容易
- ★ 豊富なラインナップ
- ★ 安定供給
(月産2,000本)

遮音の 新しい選択肢を

鉄粉入りタイプから軽量タイプまで
用途に合わせた最適な遮音を提供します。



FEシートシリーズ

鉄粉入り軟質遮音シート

FE40 / FE40N / FE40S / FE40AL / FE60

かるしーと

炭カル系軟質遮音シート

CA21

副資材

FE-TP (遮音補修・局部の隙間処理用)

株式会社YMコーポレーション

目次

製品情報から施工・遮音の基礎知識まで

PRODUCTS

製品ラインナップ・製品仕様

製品ラインナップ	1
鉄粉入り遮音材 FEシート	2
FE40シリーズ	3
高遮音シリーズFE60	4
炭カル系かるしーと CA21	5

BASICS

騒音・遮音の基礎

暮らしの中の騒音	6
暮らしの騒音レベル	7
遮音・吸音・防振の違い	8

INSTALLATION

施工・騒音対策

排水配管の騒音対策	9
排水配管の標準施工	10
排水配管の施工手順	11
CA21 施工方法	12

TECHNICAL

技術情報・サポート

TL（透過損失）	13
質量則	14
コインシデンス効果	15
よくあるご質問	16
安心して使うために	17

INFORMATION

価格・会社情報

製品定価表
会社案内

鉄粉入り FEシリーズ

設備配管・ダクト・高遮音用途



FE40

標準タイプ

厚み 1.2mm
面密度 3.8kg/m²
サイズ 920mm×10m
重量 約35kg

設備配管を中心に
幅広い用途へ



FE40N

片面粘着

厚み 1.2mm
面密度 3.8kg/m²
サイズ 920mm×10m
重量 約35kg

密着性と施工効率を
重視する場合に



FE40S

片面不織布

厚み 1.2mm
面密度 3.8kg/m²
サイズ 920mm×10m
重量 約35kg

壁材・ボード材の
高遮音施工に



FE40AL

片面
アルミガラスクロス

厚み 1.2mm
面密度 3.8kg/m²
サイズ 920mm×10m
重量 約35kg

ダクト配管の
遮音施工に



FE60

鉄粉入り高遮音グレード

より高い遮音性能が必要な設備配管・機械室などに

厚み 1.9mm | 面密度 5.8kg/m² | サイズ 920mm×5m | 重量 約27kg

壁・間仕切り用／副資材

かるしーと
CA21炭酸カルシウム系
不織布付き

厚み 1.2mm
面密度 2.1kg/m²
サイズ 940mm×10m
重量 約20kg

一般住宅の壁・間仕切りに



FEテープ

遮音補修・局所の
隙間処理用

厚み 1.0mm
面密度 3.0kg/m²
サイズ 50mm×10m
重量 約1.5kg

アクリル系粘着テープ

用途別選定 | 排水立て管 FE40（高遮音：FE60） 貼付施工 FE40N 壁・ボード FE40S
ダクト・表面保護 FE40AL 一般住宅の壁・間仕切り CA21

用途と必要な遮音性能に合わせて、7製品からお選びください。

PVC + 鉄粉

薄くて重い、鉄粉入り遮音材

鉄粉を配合した遮音材 FEシート

PVCに鉄粉を高充填し、薄さを抑えながら必要な面密度を確保。

★高比重で音を通しにくい

★柔軟で配管形状に追従

★ハサミで容易に裁断

FE40 標準グレード

1.2mm | 3.8kg/m² | 920mm×10m | 約35kg

設備配管を中心に幅広く対応

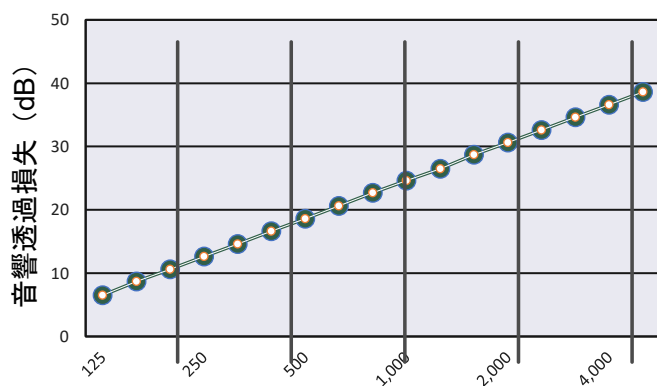
FE60 高遮音グレード

1.9mm | 5.8kg/m² | 920mm×5m | 約27kg

より高い遮音性能が必要な現場に

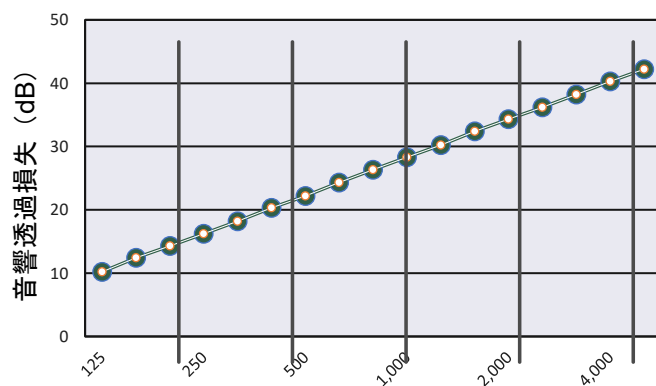
● 性能表

FE40



1/3オクターブバンド中心周波数 (Hz)

FE60



1/3オクターブバンド中心周波数 (Hz)

排水配管の推奨構成

グラスウール25t・24K + FEシート + 亜鉛金網

主な用途：排水・給排水配管／空調・ダクト／壁・間仕切り／工場・プラント設備

設備配管やダクトなど複雑な形状にも追従します。

※グラフは面密度を基に、質量則から算出した参考値です。実際の性能は施工条件・構造等により異なります。

設備遮音のスタンダードモデル

PVCに鉄粉を高充填した、薄くて重い遮音シート。基本性能は共通のまま、施工条件に合わせて表面仕様を選べます。

FE40シリーズ 共通仕様

1.2mm | 3.8kg/m² | 920mm×10m | 約35kg

寸法公差 厚み -0/+0.10mm | 幅 -0/+10mm | 長さ -0/+600mm



出荷形態（ロール梱包）



FE40

標準品

スタンダードタイプ
配管・ダクト・壁など
幅広い用途に

1.2mm | 3.8kg/m²



FE40N

片面粘着付き

片面に粘着材付き
位置合わせや固定が
しやすい仕様

1.2mm | 3.8kg/m²



FE40S

不織布付き

表面に不織布付き
仕上げ材との密着性を
高めます

1.2mm | 3.8kg/m²



FE40AL

アルミガラスクロス付き

アルミガラスクロス付き
表面保護が必要な用途に

1.2mm | 3.8kg/m²

選定の目安

標準仕様

FE40

貼り付け施工

FE40N

不織布仕上げ

FE40S

表面保護

FE40AL

※用途・下地・施工条件に応じて適切な表面仕様を選定してください。

遮音性能の基本仕様は共通。施工方法と仕上げ条件で選定します。

※製品仕様は予告なく変更する場合があります。



FE60 高遮音グレード

鉄粉入り遮音材

面密度 5.8kg/m²

FE40より面密度を高めた高遮音グレード。
より高い遮音性能が必要な配管・ダクト・
設備まわりに対応します。

5m巻・1本 約27kg

高面密度を確保しながら、5m巻の製品規格としています。

製品仕様

1.9mm | 5.8kg/m² | 920mm×5m | 約27kg

寸法公差

厚み -0/+0.10mm | 幅 -0/+10mm | 長さ -0/+400mm

ラインナップ：FE60のみ（N・S・ALの設定はありません。特注対応は可能です。ロット等別途御相談にて承ります。）

主な用途

排水・給排水配管

流水音や固体伝搬音の対策に

空調・ダクト

送風音・機器音の遮音対策に

機械室・設備まわり

より高い面密度が必要な箇所に

FE40・FE60 比較

※必要な面密度と施工条件に合わせて選定

	FE40	FE60
厚み	1.2mm	1.9mm
面密度	3.8kg/m ²	5.8kg/m ²
サイズ	920mm×10m	920mm×5m
重量	約35kg	約27kg
位置づけ	標準グレード	高遮音グレード

より高い遮音性能が必要な現場には、FE60をご検討ください。

※用途・施工条件・下地構成に応じて適切な製品を選定してください。

壁・間仕切りに使いやすい、住宅向け遮音シート

かるしーと CA21

炭酸カルシウムを主原料とした遮音シートに、不織布を貼り合わせた住宅向け製品です。コストと施工性を重視する壁・間仕切りにご使用いただけます。

製品仕様

厚み	1.2mm
面密度	2.1kg/m ²
サイズ	940mm×10m
重量	約20kg
材質	炭酸カルシウム系＋不織布

寸法公差 厚み -0/+0.10mm | 幅 -0/+10mm | 長さ -0/+600mm

用途の目安

おすすめする用途

一般住宅の壁・間仕切り
石膏ボード下地
生活音を抑えたい箇所

用途選定のポイント

排水配管・ダクト、機械室や設備まわりなど、より高い遮音性能が必要な場合はFEシリーズをご検討ください。

より高い遮音性能が必要な場合

鉄粉入り遮音材 FEシリーズ

薄さを抑えながら必要な面密度を確保。配管やダクトなど複雑な形状にも追従し、高遮音用途に対応します。

建築用途の中でも、壁・間仕切りのベーシックな遮音材としてお使いいただけます。

音は、建物のさまざまな場所から生まれます。

生活音は空気だけでなく、床・壁・配管を通じて建物全体へ伝わります。

足音・物の落下音

床や梁を振動させ、
下階へ伝わります。

洗濯機・機器振動

床・壁に振動が伝わり、
建物内へ広がります。

テレビ・生活音

壁や天井を通じて、
隣室や上下階へ。



話し声

空気を伝わり、壁や
天井を通じて隣室へ。

キッチン・浴室

調理音や水音が、
床・壁へ伝わります。

排水配管の通水音

配管を通じて、
建物全体へ響きます。

音の伝わり方は、大きく3つ

発生源だけでなく、伝わる経路を考えて対策することが重要です。

空気音

話し声・テレビ音など
空気中を伝わる音

固体音

足音・機器振動など
床や壁を伝わる音

配管音

流水・排水音など
配管を通じて伝わる音

適切な遮音対策は、音の発生源と伝搬経路を知ることから始まります。

私たちの身の回りには、さまざまな音があります。

音の大きさは「デシベル（dB）」という単位で表されます。
dBは対数尺度であり、10dB上がると音のエネルギーは約10倍、
人が感じる大きさ（感覚的な響き）は約2倍とされています。
排水設備の騒音は、生活環境に大きく影響するため、
適切な遮音対策が重要です。



「聞こえる」から「気になる」へ
10～15dBの差が快適性を左右します。

■ 身の回りの音の例

騒音レベル (dB)	音の大きさの目安	具体例
120	非常にうるさい (聴力に影響)	航空機のエンジン付近
100～110	きわめてうるさい	電車の通るガード下
80～90	うるさい	地下鉄の車内
60～70	普通	普通の会話
40～50	静か	静かな事務所
20～30	きわめて静か	深夜の郊外住宅地
0～10	ほとんど聞こえない	人の呼吸音、木の葉のふれる音

出典：環境省「騒音に係る環境基準の解説」、日本工業規格 JIS Z 8731などを参考に作成

■ 排水配管で発生する主な騒音と音のレベル

水の流れる音（流水音）

排水が管内を流れる際に発生する音

【音のレベル目安】
40～60dB
(条件により変動)

水が落下する音（落下音）

排水が継手や立て管内で落下する際に発生する音

【音のレベル目安】
60～80dB
(条件により変動)

継手による乱流音（乱流音）

継手部で水が乱流を起こし、発生する音

【音のレベル目安】
55～75dB
(条件により変動)

器具からの放射音

排水時に器具（便器・洗面器等）から室内へ放射される音

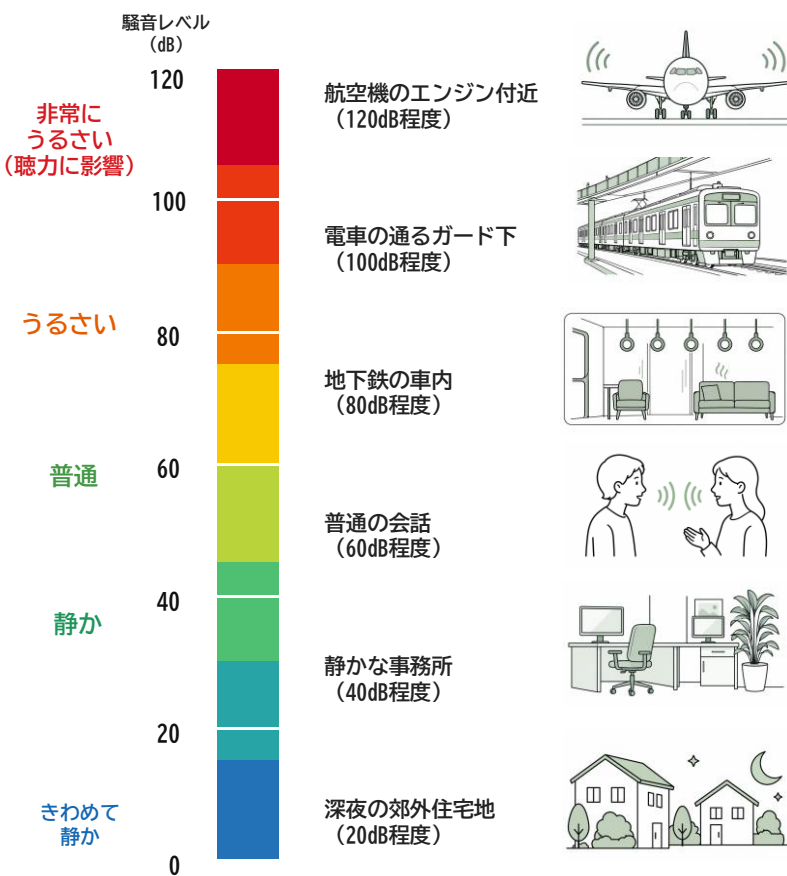
【音のレベル目安】
50～70dB
(条件により変動)

排水騒音は、配管の構造・固定方法・遮音材の有無によって大きく変わります。
FE40等の遮音材を適切に使用することで、快適な生活環境を確保することができます。



音の大きさの目安を知ることが、適切な遮音設計の第一歩です。

■ 騒音レベルの目安（イメージ）



騒音対策の基本

3つの対策は、音に対する役割が異なります。

音の発生源と伝わり方に合わせて、適切に組み合わせることが重要です。

01 遮音

SOUND INSULATION



音を通しにくくする

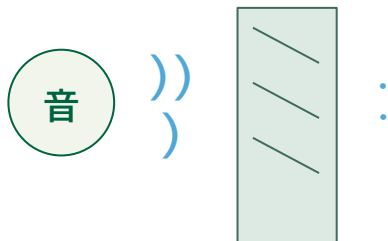
材料の重さで音を遮り、反対側へ抜ける音を抑えます。

代表材料

FEシート
かるしーと CA21

02 吸音

SOUND ABSORPTION



音の反射や響きを抑える

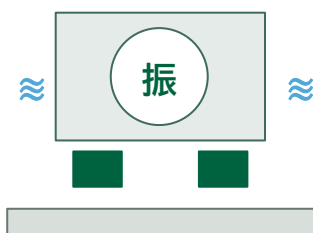
音のエネルギーを内部で吸収し、反射音や室内の響きを抑えます。

代表材料

グラスウール
吸音材

03 防振

VIBRATION CONTROL



振動の伝達を抑える

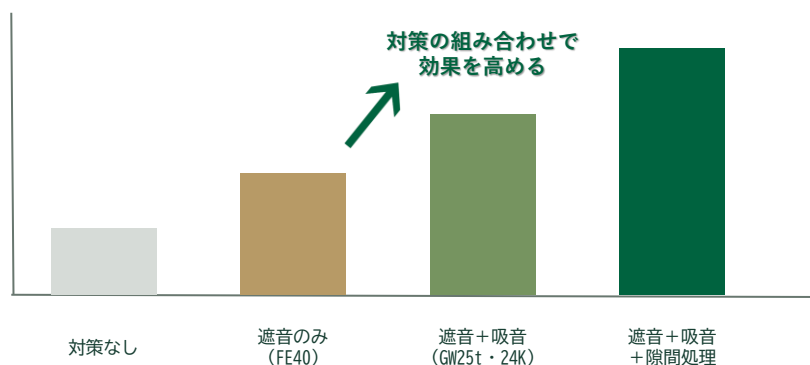
機器や配管の振動が、床や壁などの構造体へ伝わることを抑えます。

代表材料

防振ゴム・支持材
防振架台

吸音材との併用で、遮音性能が大きく向上します。

対策による効果の目安（透過損失：TL向上イメージ）



YMCチャンネル

動画で見る
遮音材+吸音材の効果

実演動画で

30dB以上

の騒音低減を確認



動画はこちら

youtube.com/watch?v=9-50NraLeTQ

※動画内の測定環境・施工条件による結果であり、性能を保証する数値ではありません。

音の特性や発生場所に合わせて、遮音・吸音・防振を組み合わせます。

※グラフは対策による効果のイメージです。実際の性能は施工条件・構造等により異なります。

排水管の騒音対策では、材料・構造・施工のすべてが性能に影響します。

「漏れなく巻く」「隙間をつくらない」「振動を伝えない」「正しく施工する」が基本です。

騒音対策の4つの基本原則

1 漏れなく巻く

配管全体を連続して覆い、音の透過経路を遮断します。

2 隙間をつくらない

継ぎ目や取り合いを密閉し、わずかな音漏れも防ぎます。

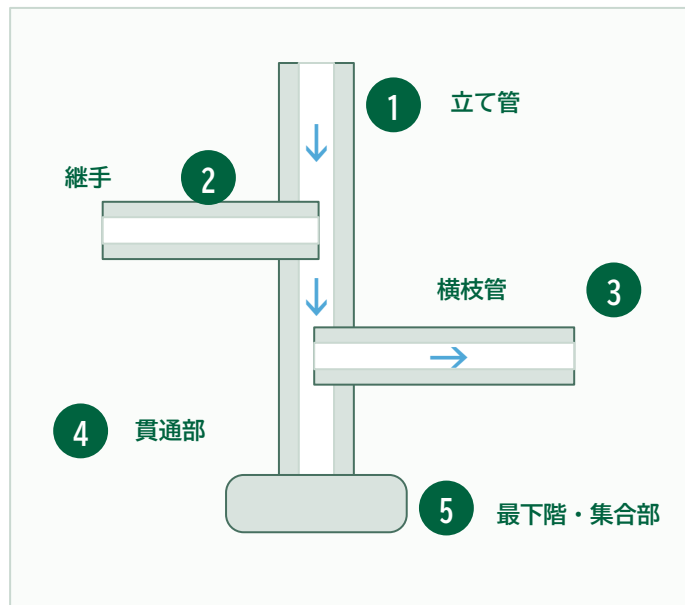
3 振動を伝えない

支持部や貫通部から構造体へ伝わる振動を抑えます。

4 正しく施工する

材料の向き・重ね代・固定方法を守り、性能を確保します。

騒音が発生しやすい5つの箇所



遮音性能を高める5つの施工ポイント

施工のわずかな違いが、現場での遮音効果を左右します。

ポイント	施工内容	得られる効果
1 漏れなく巻く	配管全体を隙間なく連続して巻く	音の透過経路を遮断
2 継ぎ目の処理	重ね代を確保し、アクリル系粘着テープで処理する	継ぎ目からの音漏れを防止
3 貫通部の処理	壁・床との隙間を適切な材料で充填する	隙間からの音漏れを防止
4 吸音材の併用	グラスウール25t・24KとFEシートを組み合わせる	反射音を抑え、対策効果を向上
5 施工品質の確保	向き・重ね代・固定方法を守り確実に施工する	設計した性能を安定して発揮

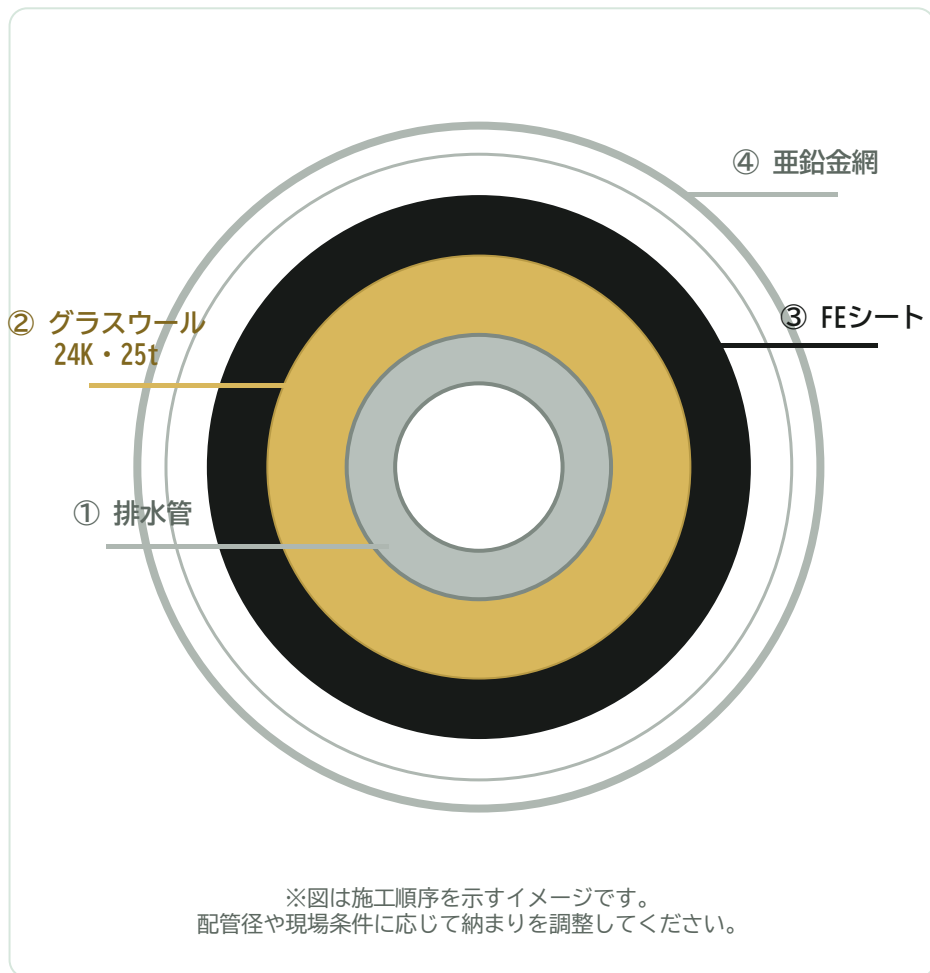
！ 材料の性能だけでなく、隙間のない施工と振動を伝えない納まりが、遮音効果を左右します。

正しい材料選定と確実な施工で、遮音性能を引き出します。

配管騒音対策は、グラスウールで音を吸収し、FEシートで音の透過を抑える複合構造が基本です。

材料の順序・向き・重ね代・固定方法を守り、配管全体を隙間なく連続して覆ってください。

標準構成（断面イメージ）



施工順序

1

排水管

配管表面の汚れや水分を除去し、施工箇所を確認します。

2

グラスウール

24K・25tを隙間なく巻き、アルミ箔面をFEシート側へ向けます。

3

FEシート

グラスウールの外側を連続して覆い、継ぎ目を30～50mm重ねます。

4

亜鉛金網

最外層を金網で固定し、ずれ・浮き・隙間がないか確認します。

施工時に必ず確認する4つのポイント

1

重ね代

FEシートの継ぎ目は30～50mm重ねます。

2

向き

グラスウールのアルミ箔面はFEシート側へ向けます。

3

継ぎ目処理

アクリル系粘着テープで仮止め。ゴム系粘着テープは使用不可。

4

金網仕様

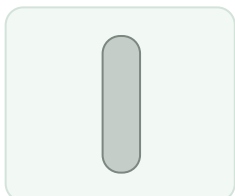
亜鉛金網：線径0.4mm、16mm目を標準とします。

吸音材と遮音材を正しい順序で施工し、材料の性能を確実に引き出します。

※隙間や巻き残しは音漏れの原因になります。材料を連続させ、継ぎ目・支持部・貫通部まで確実に処理してください。

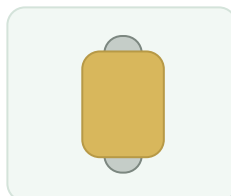
施工前に配管径と必要寸法を確認し、グラスウール・FEシート・固定材を準備してください。

1 寸法確認・材料の切断



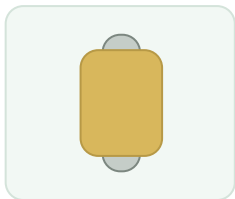
配管径と施工範囲を確認し、グラスウールとFEシートを必要寸法に切断します。

2 グラスウールを巻く



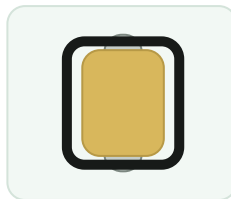
24K・25tを配管へ隙間なく巻き、アルミ箔面をFEシート側へ向けます。

3 仮止めする



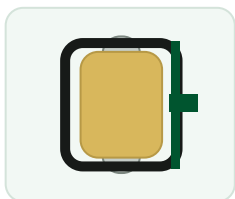
巻きずれが起きないようにアクリル系粘着テープで仮止めし、隙間や浮きを確認します。

4 FEシートを巻く



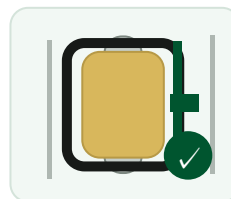
グラスウールの外側を連続して覆い、継ぎ目は30～50mm重ねます。

5 継ぎ目を処理する



継ぎ目・端部・取り合い部をアクリル系粘着テープで処理し、音漏れの経路をふさぎます。

6 亜鉛金網で固定・確認



線径0.4mm・16mm目の亜鉛金網で固定し、巻き残しやずれがないか確認します。

仕上げ確認

配管全体が連続して覆われているか、継ぎ目・支持部・貫通部に隙間がないかを必ず確認してください。

材料を強く締め付けすぎると、グラスウールの厚みが減り、十分な吸音効果を得られない場合があります。

吸音材と遮音材を順番に施工し、隙間のない仕上がりを確保します。

壁・間仕切りへの施工

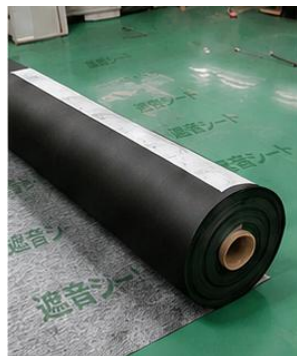
1 採寸・裁断

2 配置

3 固定（仮止め）

4 重ね代の確保

5 継ぎ目処理



施工箇所の寸法を測り、
上下100mm程度の余裕をみ
て裁断します。

不織布面を室内側（仕上げ側）
に向けて配置します。

木枠下地の場合は、端部
から100～150mmピッチを
目安に固定します。

シート同士の重ね代は、
約30mmを確保します。

継ぎ目や取り合い部は、
アクリル系粘着テープで
隙間なく処理します。

※シートの重ね部は、必ず下地のある位置に施工してください。

天井への施工

重量物のため、脱落防止を確認しながら施工してください。

1 位置の確認

2 仮止め

3 固定

4 下地の取付け



採寸後、シートを天井位置
まで持ち上げ、
施工位置を確認します。

ステープラーで仮止めし、野縁に100mm以下を目安として、
シートの落下を防ぎます。確実に固定します。

石膏ボードなどの
下地材を取り付け、
CA21を押さええます。

アクリル系粘
着テープ

用途・下地に応じて選定
ゴム系粘着テープは不可

継ぎ目・隙間処理
取り合い部の処理

施工時のポイント

- 不織布面を室内側（仕上げ側）に向ける
- シートの重ね代は約30mmを確保する
- 壁・天井の取り合いや隙間はアクリル系粘着テープで処理する
- 重量物のため、落下防止と確実な固定を行う

より高い遮音性能が必要な場合

CA21 → FE40S

面密度 2.1kg/m² → 面密度 3.8kg/m²

不織布付き面を室内側（仕上げ側）へ

※施工条件・下地構成により固定方法は異なります。現場条件に応じて適切に施工してください。

TL (Transmission Loss) は、入射した音のエネルギーに対して、材料の反対側へ透過した音がどれだけ減ったかを表す値です。

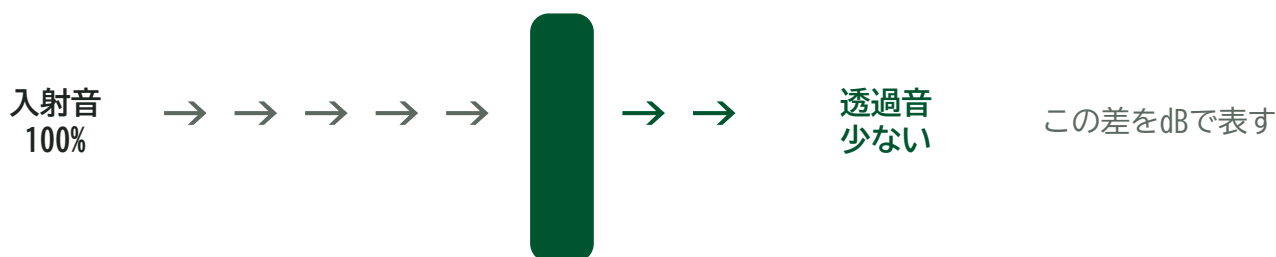
$$TL = 10 \log_{10} (W_i \div W_t)$$

W_i : 材料に入る音のエネルギー

W_t : 材料を通り抜けた音のエネルギー

※dBの数字は、材料を通り抜けた音のエネルギー比を示します。

同じ入射音でも、TLが大きいほど透過音は少ない



dBを「透過する音のエネルギー」で見ると

10dB

1/10

透過エネルギー 10%

20dB

1/100

透過エネルギー 1%

30dB

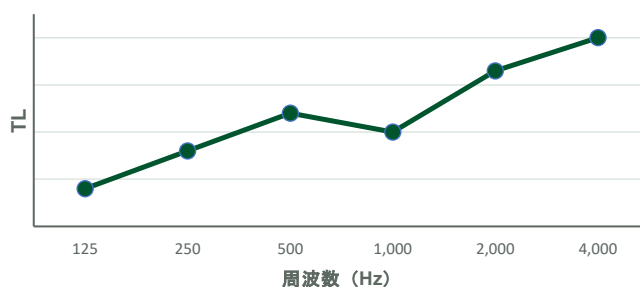
1/1,000

透過エネルギー 0.1%

※エネルギー比の説明です。人が感じる音の大きさや、実際の室内低減量と同じ意味ではありません。

TLは周波数ごとに変化する

実際のTLは、周波数帯ごとに上下します。必要な音域のTL曲線を確認することが重要です。



※周波数による変化を示す概念図（製品実測値ではありません）

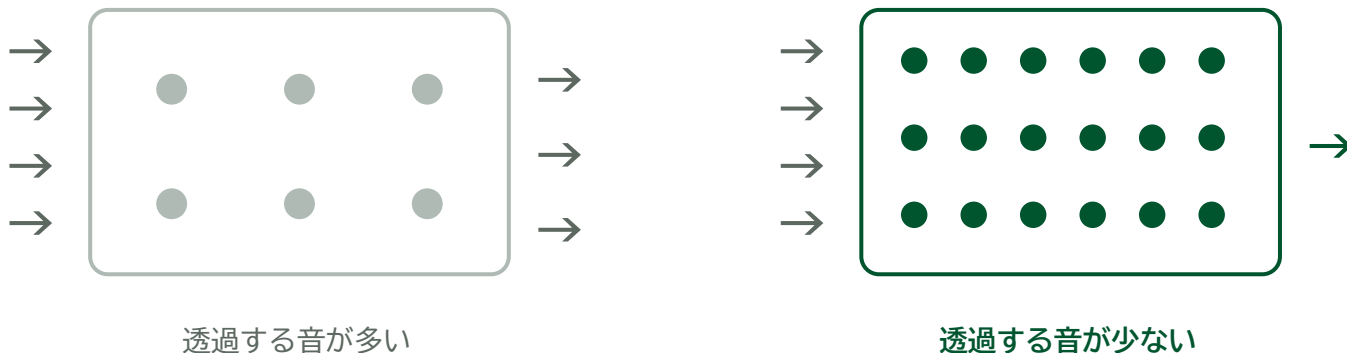
カタログ値は、試験条件・施工構成・周波数帯と合わせてご確認ください。

理想的な単層材の質量則領域では、面密度が大きいほどTLが高くなります。
厚さではなく、単位面積あたりにどれだけ質量があるかが重要です。

比較条件：どちらも同じ 1㎡

面密度が小さい材料

面密度が大きい材料



図の縦横サイズは同一。違うのは1㎡あたりの質量です。

質量則の基準式

$$TL \doteq 20 \log_{10} (m \cdot f) - 47$$

m：面密度 (kg/㎡) f：周波数 (Hz) | 面密度2倍でTL約+6dB

FE40とFE60を面密度で比較

FE40

1.2mm / 3.8kg/㎡

FE60

1.9mm / 5.8kg/㎡

同じ周波数で差を取ると、fと-47が消えるため面密度の比で比較
 $\Delta TL = 20 \log_{10} (5.8 \div 3.8) \doteq 3.7\text{dB}$

※同一周波数・理想条件での計算上の目安。製品の実測性能差を示す数値ではありません。

なぜ鉄粉を配合するのか

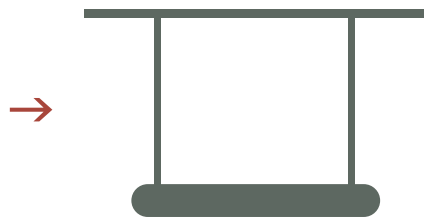
PVCに高比重の鉄粉を充填し、薄さを抑えながら必要な面密度を確保するためです。

面密度は「1㎡あたりの重さ」比較する面積を揃えることが基本です。

※実際のTLは、周波数・剛性・内部損失・支持条件・施工状態などの影響を受けます。

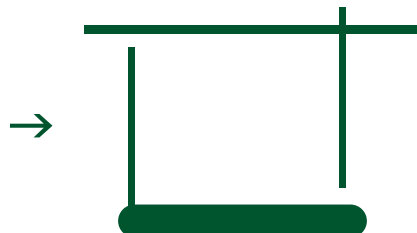
まずはブランコで考える

タイミングが合わない



押す力が揺れとずれ、
大きく揺れにくい

タイミングが合う



押す力が揺れと重なり、
少ない力でも大きく揺れる

これは現象を理解するためのたとえです

材料では、音の進み方と曲げ波が一致する

- 1 音が斜めから入射
- 2 材料に曲げ波が発生
- 3 特定周波数で一致
- 4 裏側へ音を再放射

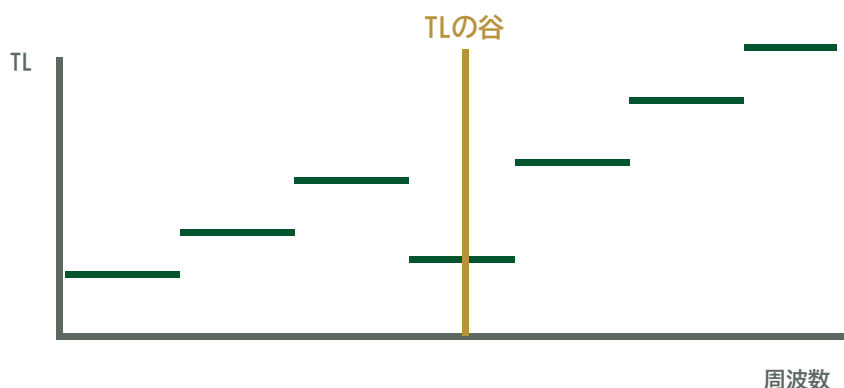
材料表面に沿って
圧力の山谷が進む

板・シートが
波打つように振動

音の進み方と
曲げ波がかみ合う

振動が大きくなり
TLが一時的に低下

グラフには“谷（コインシデンス・ディップ）”として現れる



影響の出方は材料で異なる

ガラスや硬い金属板など、
剛性の高い板では谷が目立ちやすい。

柔軟性や内部損失のある材料では、
影響の程度や周波数が変わります。

結論：面密度だけでなく、周波数ごとの実測TLを見る

FEシートについても“コインシデンスをなくす”とは断定せず、実測曲線と施工構成で確認します。

“ブランコを押すタイミング”から、材料の曲げ振動へつなげて考えます。

Q1 FEシリーズの特長は？**A**

PVCに鉄粉を高充填した、高比重タイプの遮音シートです。
薄さを抑えながら高い面密度を確保し、第三者機関で遮音性能を確認しています。

Q2 F☆☆☆☆(フォースター)の対象製品ですか？**A**

遮音シートは建築基準法上の内装仕上材に該当しないため、F☆☆☆☆表示制度の対象外です。

Q3 DOPを使用していますか？**A**

はい。
FEシリーズは可塑剤としてDOPを使用しています。
原材料情報はSDSでご確認いただけます。

Q4 FE40とFE60はどう選びますか？**A**

FE40は面密度3.8kg/m²の標準グレード、
FE60は5.8kg/m²の高遮音グレードです。
必要性能と施工条件に合わせて選定してください。

Q5 CA21は排水配管に使えますか？**A**

推奨していません。CA21は壁・間仕切り向けです。
排水配管など高い遮音性能が必要な用途には
FEシリーズをご使用ください。

Q6 グラスウールは必要ですか？**A**

配管遮音ではグラスウール25t・24Kとの併用を推奨しています。
吸音材と遮音材を組み合わせることで対策効果が向上します。

Q7 SDSや技術資料はありますか？**A**

SDS・品質仕様書・試験資料・施工資料をご用意しています。
最新版は営業担当までご依頼ください。

Q8 加工・施工は難しいですか？**A**

ハサミで切断できます。
アクリル系粘着テープで仮止めし、用途に応じて垂鉛金網等で確実に固定してください。

上記以外のご質問やご不明点は、お気軽にお問い合わせください。

製品を安心してご採用いただけるよう、原材料情報から品質管理、第三者機関での性能確認、施工時の注意事項まで明確にお伝えします。

確かな品質管理と誠実な情報開示

01 原材料と情報開示

- ・資源活用のため、再生PVCを使用
- ・可塑剤としてDOPを使用
- ・原材料情報はSDSで確認可能

製造条件と製品性能を管理し、
必要な情報を正確に開示しています。
※F☆☆☆☆表示制度の対象外

02 工程ごとの品質管理

受入から出荷まで管理

原材料の受入確認
製造工程の管理
完成品・出荷時の確認

主な確認項目：厚さ・面密度・外観

ロット管理により、品質の維持と
出荷後のトレーサビリティに対応します。

03 第三者機関で性能を確認

大阪産業技術研究所にて
透過損失試験を実施

客観的な試験結果に基づき、
遮音性能を確認しています。

04 安全な取扱いと技術資料

火気の近くで使用しないでください。
施工時は換気を行い、必要に応じて
保護具を着用してください。

ご提供資料：SDS／品質仕様書／
試験成績書／施工資料／製品カタログ

原材料・品質管理・安全情報を、わかりやすく開示します。

製品定価表

YMC PRODUCT PRICE LIST

現行ラインナップ 7製品
定価は1本単位（FEテープは1個単位）・税別です。重量は1本（1個）当たりの概算値です。

品番	製品仕様	サイズ	重量	荷姿・入数	定価（税別）
FE40	標準タイプ	1.2mm × 920mm × 10m	約35kg	30本 / パレット	¥100,000
FE40N	片面粘着	1.2mm × 920mm × 10m	約35kg	30本 / パレット	¥135,000
FE40S	片面不織布	1.2mm × 920mm × 10m	約35kg	30本 / パレット	¥110,000
FE40AL	アルミガラスクロス	1.2mm × 920mm × 10m	約35kg	30本 / パレット	¥150,000
FE60	高遮音グレード	1.9mm × 920mm × 5m	約27kg	40本 / パレット	¥75,000
CA21	かるしーと	1.2mm × 940mm × 10m	約20kg	35本 / パレット	¥21,000
FE-TP	FEテープ	50mm × 10m	約1.5kg	5個 / 箱	¥26,500

2026. 9月改訂定価

- ※ 運賃・納期・販売条件については、営業担当までお問い合わせください。
- ※ 重量は面密度×製品面積から算出した概算値です。
- ※ パレット入数は標準荷姿です。FEテープは「1個 × 5個」を入数として表記しています。
- ※ 価格・製品仕様は予告なく変更する場合があります。

株式会社 YMコーポレーション

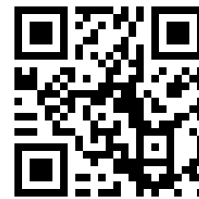
音の悩みを、ひとつでも多く解決するために。

鉄粉入り軟質遮音材「FEシート」を中心に、建築・設備分野の騒音対策製品を提供しています。

会社概要

会社名	株式会社 YMコーポレーション
代表者	代表取締役 山野 修治
設立	2025年8月27日
資本金	500万円
所在地	〒550-0025 大阪市西区九条南1-2-21
TEL / FAX	06-6599-9090 / 06-6583-7280
E-mail	info@y-m-c.com
事業内容	遮音材の企画・製造・販売
取扱製品	FEシートシリーズ / かるしーとシリーズ / 遮音関連副資材

OFFICIAL WEB



YMC公式
ホームページ

製品情報・各種資料は
公式サイトへ

お問い合わせ TEL 06-6599-9090 Mail info@y-m-c.com WEB <https://y-m-c.com/>



株式会社YMコーポレーション

音の悩みを、ひとつでも多く解決するために。
唯一無二の鉄粉入り遮音材をお届けします。

株式会社YMコーポレーション

〒550-0025 大阪市西区九条南1-2-21

TEL:06-6599-9090/ FAX:06-6583-7280

Mail : info@y-m-c.com

HP : <https://y-m-c.com>

取扱製品

- ・FEシートシリーズ（鉄粉入り軟質遮音シート）
FE40 / FE40N / FE40S / FE40AL / FE60
- ・かるしーとシリーズ（炭カル系軟質遮音シート）
CA21
- ・副資材 遮音テープ
FE-TP（FEテープ）

本カタログの内容は予告なく変更する場合があります。